

スポーツタウン推進課の取組

事業の目的

障害者スポーツへの興味関心を喚起する機会を提供するとともに、障害の有無にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しむことができる環境づくりを促進し、共生社会の実現を目指す。

主たる事業

1. ボッチャの普及推進

- (1) ボッチャ大会(府中市ボッチャ大会・スポレクボッチャ)
- (2) ボッチャ教室・講座(教室2回、出前教室等9回)
- (3) ボッチャ体験(ボールふれあいフェスタ、軽スポーツ大会、waiwaiフェスティバル)

2. 障害者スポーツ体験イベントの開催

- (1) あすチャレ運動会 & ブラインドサッカー体験会(ボッチャ、シッティングバレーボール、車いすポートボール、ブラインドサッカー)
- (2) 障害者スポーツ体験会(車いすラグビー、デフラグビー、ゴールボール、ボッチャ、モルック)
- (3) ブラインドサッカー体験イベント

今年度の実績・成果

- 参加者(障害当事者) 1(1):延270名、1(2)延254名、1(3)延2,170名
2(1):64名(2名)、2(2):延1,050名(延25名)、2(3):45名(0名)
- 成果等
1のイベントでは、年2回の大会に向けて、ボッチャ教室や出前講座、また、各種イベントでボッチャ体験を行うことで、ボッチャの気運を高め、参加者の増加を図った。
2(2)(3)のイベントでは、パリ2024パラリンピックに出場した選手に参加いただいた。わずかではあるが、障害当事者の参加もあり、障害の有無に関わらず一緒にスポーツを楽しむ機会となった。
実施後のアンケート結果から、どのイベントも参加者の満足度の高さが伺えた。初めてパラスポーツを体験した方も一定数おり、「またパラスポーツイベントに参加したい」という声が多くあった。

課題など

- 集客
- 種目の選定(同じ競技が続くと参加率が下がる傾向があるため)